

行政視察報告

議会運営委員会

日時 11月6日～8日

場所 長崎県諫早市

大分県大分市

議会改革及びタブレット端末の導入

諫早市では、平成21年に諫早市議員政治倫理条例を制定し、「わがまちトーク」と称して、議員自ら市内6会場で議会報告会を行ってまいりました。

また、議会のICT化で「タブレット端末」を導入



議会運営委員会行政視察

し、議員や市職員が議案書や議案資料等を共有化していました。市民も資料の一部をインターネットで閲覧できます。ペーパーレス化にも努力をしていました。

事務事業評価と議員政策研究会の取り組み

大分市では、市政執行に対する評価・監視機能の強化の一環として、毎年、決算審査の充実を目標に事務事業評価を導入しました。会派から対象事務事業を出して、①継続事業②市民生活直結事業③補助事業④市単独事業の選定基準により抽出します。

議会及び執行部が作成した評価シートに基づいて検証評価を行い、翌年の事務事業評価に反映しています。ひとつの結論を出すのは大変ですが、各分科会での評価の過程を重視していることがわかりました。

東日本大震災で被災した若手県陸前高田市・南三陸町などの復興状況を視察してきました。

平成23年3月11日に東北地方太平洋沖地震が発生しました。日本周辺で観測史上最大の地震で、死者・行方不明者は1万8000人を超え、現在も避難者は12万人を超えています。

洪川市議会では、発生の翌年7月に陸前高田市や気仙沼市などの復興支援を兼ね視察訪問しました。

今回は視察から5年が経過し、復興の進ちよく状況を確認すべく視察訪問を行



陸前高田市の被災施設

いました。陸前高田市議会へは議長、副議長が代表して表敬訪問を行い、復興状況や庁舎建設の計画など説明を受けました。

また南三陸町の防災対策庁舎では、市議会として献花を行い、議員全員でご冥福を祈り黙祷を行いました。復興状況は、新たな商店街ができ、ホテルなども建て替えが進んでいます。まだまだ諸課題も山積して、復興の進展は困難が予想されると思います。一日も

早く復興ができるよう洪川市議会としても応援してまいります。



南三陸市で追悼、献花

平成30年3月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28	3/ 1	2	3
			本会議 開会・ 議案上程	本会議 議案上程	常任委員会 総務市民 経済建設	
4	5	6	7	8	9	10
	常任委員会 教育福祉	常任委員会 予算	本会議 表決・ 予算議案上程	本会議 予算議案上程	本会議 予算議案上程	
11	12	13	14	15	16	17
	一般質問	休会 中学校卒業式	一般質問	一般質問	常任委員会 予算	
18	19	20	21	22	23	24
	常任委員会 予算	常任委員会 予算		常任委員会 予算	休会 小学校卒業式	
25	26	27	28	29	30	31
	本会議 表決・閉会					

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会のしくみ

◆ 今回のテーマ

「会派」とは？

今回は「会派」についてのお話をします。

国会のニュースなどでお聞きになったこともあるかと思いますが、「会派」というのは、議会内での議員たちの集合体のことです（政党とは異なります）。理念、主義、目的などを共有するグループで、渋川市議会では2人以上の議員が集まると会派として認められます。

会派をつくる目的は、議会の運営をスムーズに行うことにあります。ただし、議会の機関ではないので、会派に所属してもしなくても議員個人の活動には差し支えありません。

また、議長と副議長は渋川市議会の申し合わせにより、会派に所属しないことになっています。

現在、渋川市議会には5つの会派があります。今回はそれぞれの会派をご紹介します。



石倉 一夫



代表
望月 昭治



星野 安久



茂木 弘伸

「きぼう」

ひとは、夢と希望を持つことが大切です。会派「きぼう」は、そんな願いを込めて名前がつけられました。市民のために働くことがモットーです。構成員は4人で、市政のチェック機関として、また、みなさんが安心して暮らせるための議会活動をしています。



山崎 雄平



代表
入内島 英明



山崎 正男



今井 五郎

「新政クラブ」

我が会派の平均年齢は、70・5歳と高いですが、4人とも温厚な性格です。保守系を支持しています。しかし、間違った考え方、おかしな事項については、会派内で徹底的に議論し、方向性を見いだします。基本的認識は、渋川市の発展と繁栄を全員が考えています。

「政策調査会」



代表 中澤 広行



細谷 浩



山内 崇仁



池田 祐輔

政策を調査・探求し、市政に継続して提言することを目指して日々精進している会派です。

市民の皆さまからいただく課題に時間をかけることなく対処することを基本とし、あらゆる難題に挑戦しております。

変革を迎えた時代に即応し、大切な故郷を愛してまいります。

「リベラル渋川」



代表 南雲 鋭一



平方 嗣世



篠田 徳壽



田邊 寛治

平成28年3月定例会時には、元議長を含む4人が無党派でした。このままではいけないと話し合い、平成28年6月に会派を結成しました。

「会派のきまり」は、市政に対し是非々々を貫く、会派拘束はしない（案件によっては議論し、結論を出す）としております。

「日本共産党市議団」



代表 角田 喜和



加藤 幸子

地方自治体の仕事は「住民福祉の増進」です。私たちは、「住民こそが主人公」を貫き、「憲法を暮らしに生かす」を貫き、市政を厳しくチェックします。市民の声を市政に届け、その実現の道すじを提案し、市民の皆さんとともに取り組みます。福祉最優先の安心・安全のまちづくりを目指してまいります。

会派に属さない議員



議長 須田 勝



副議長 安力川 信之



今成 信司

平成29年12月定例会の審議結果

条例の改正……………原案可決

- 渋川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市体育施設条例の一部を改正する条例
- 渋川市営駐車場条例の一部を改正する条例
- 渋川市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例
- 渋川市法定外公共物の管理に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市個別処理浄化槽条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

条例の廃止……………原案可決

- 渋川市複合福祉施設まつぼっくり条例を廃止する条例

その他……………原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 第2次渋川市総合計画基本構想の策定について
- 渋川地区広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議について
- 公の施設の指定管理者の指定について（2件）

平成29年度補正予算……………原案可決

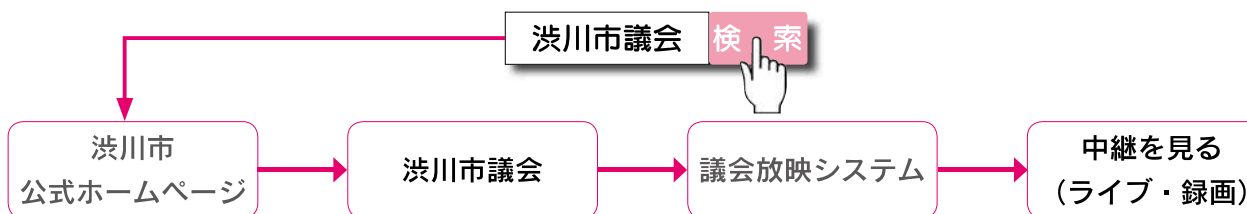
- 渋川市一般会計補正予算(第4号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第2号)
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市水道事業会計補正予算(第2号)
- 渋川市一般会計補正予算(第5号)
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 渋川市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計補正予算(第3号)
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
- 渋川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)
- 渋川市水道事業会計補正予算(第3号)



発行◆渋川市議会
編集◆議会報編集委員会

渋川市議会はインターネット中継しています。渋川市ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/>



編集後記

高木新市政になって初めての新年を迎えました。今回は渋川市議会の会派、議員、理念を改めて掲載させていただきました。

議会における会派、構成する議員の役割、判断は市民にとって重大な責任と影響を及ぼします。

市の予算、施策の議決を市民から負託されている議員は、その人格・才能を、まちづくりに発揮することが求められます。新年にあたり、自省の念をもってまいります。
(編集委員 田邊寛治)

議会報編集委員会

委員長 篠田 徳壽
副委員長 今成 信司
委員 山内 崇仁
星野 安久
田邊 寛治
山崎 雄平
加藤 幸子
安力川 信之